

チケット

料金

大人 2,500円 / 18歳未満 500円 / 未就学児 無料

ご予約は、上演前日18時まで右記窓口にてお受けします。
料金はご来場時にお支払いください。

電話 / (0857) 84-3268

ウェブ / www.birdtheatre.org/reserve/

電子メール / ticket@birdtheatre.org



事前にご予約いただいた方に、お得な割引があります。
割引の詳細な内容は中面をご参照ください。

予約受付は
1月9日(月・祝)
10時より

上演をもっと多くの方に楽しんでいただくために



無料送迎します ※土日祝日のみ運行

JR鳥取駅・鳥大前駅・浜村駅と鳥の劇場を結ぶ送迎バスを運行します。無料で、どなたでもご利用いただけます。

※土日祝日のみ運行します。
※利用人数の把握の都合上、必ず事前のご予約をお願いします。
※帰りの運行時間はウェブサイトでご確認ください。

■鳥の劇場行きバス 運行予定時刻

JR鳥取駅南口 JR鳥大前駅
フコク生命ビル前 ロタリー JR浜村駅 鳥の劇場
10:45発 → 11:10発 → 11:35発 → 11:50着
→ 13:10発 → 13:25着



鳥のカフェがあります

上演の前後に、コーヒーや各種ソフトドリンクなどを販売いたします。
上演にちなんだ軽食やスイーツも販売予定です。メニューの詳細は、2月以降鳥の劇場ウェブサイトにてご確認ください。



バリアフリーをめざします

障がいのある方にもご覧いただけるよう、適宜対応いたします。
・車いすの方など入場時に配慮が必要な方を対象に、優先入場を行なっています。
・視覚障がいの方のために、上演前に舞台空間の説明をします。



字幕あります

セリフが聞こえづらい方のために、手に持てる小さい「字幕」をご用意しております。



English Subtitles available

セリフの英語訳を自動的に表示するiPodをご用意しています。
Programmes are available with English subtitles which automatically appear on iPod screen.

鳥の劇場へのアクセス 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話：0857-84-3268

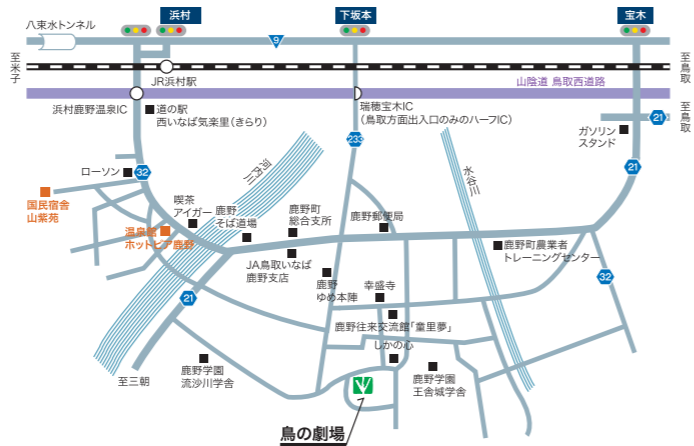
■JRを使って

劇場の最寄り駅はJR浜村駅です。
※土日祝日の公演日は、JR鳥取駅・浜村駅と鳥の劇場間の無料送迎バスを運行します。(要予約)

- 浜村駅まで
 - ・鳥取駅から、山陰本線、米子方面行きで30分
 - ・倉吉駅から、山陰本線、鳥取方面行きで25分
 - ・米子駅から、山陰本線、鳥取方面行きで1時間40分
- 浜村駅から
 - ・車で15分

■車を使って

- ・山陰道 鳥取西道路、浜村鹿野温泉IC・瑞穂宝木ICから約10分
- ・鳥取市中心部から約30分
- ・倉吉市中心部から約40分
- ・米子市中心部から約1時間20分



感染症対策を講じた上で開催します



観客や参加者同士が十分な距離を取る広さの場所、定員でプログラムを実施します。



会場の定期的な換気、消毒を行います。



ご来場時に検温を実施します。
(37.5度以上の発熱がある方は、ご入場をお断りする場合があります。)



マスクの着用をお願いいたします。

主催：特定非営利活動法人鳥の劇場
後援：鳥取県 鳥取市 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会 NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 新日本海新聞社 株式会社ふるさと鹿野
助成：文化庁 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 令和4年度 鳥取県 文化芸術地域モデル全国発信事業補助金活用事業

特定非営利活動法人鳥の劇場 ウェブサイト www.birdtheatre.org 電子メール info@birdtheatre.org 〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話・ファックス 0857-84-3268

鳥の劇場2022年度プログラム<創るプログラム>

この冬の時期は、新作公演を楽しんでいただけます。今回取り上げるのは、チャーホフの代表作「三人姉妹」。難しそう？ そんなことはありません。未来への希望が見えづらい状況の中で、それでも自分らしく生きたいと多くの人たちが登壇します。そうです、今の私たちが芝居の中に現れるのです。

鳥の劇場
BIRD Theatre Company TOTTORI

チャーホフの歴史的な名作を
鳥の劇場が現代によみがえらせる

BIRD Theatre Company TOTTORI

Three Sisters

Written by Anton Chekhov
Directed by NAKASHIMA Makoto
2 PM on February 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 22, 23, 24, 25, 26
and March 1, 2, 3, 4, 5

Venue: BIRD Theatre
1812-1, Shikano, Shikano-cho, Tottori City,
Tottori Prefecture 689-0405

Tickets
Adults: 2,500yen
Under 18: 500yen
Preschoolers: Free

Contact
E-mail: info@birdtheatre.org
Telephone: 0857-84-3268
Website: www.birdtheatre.org

English subtitles available

三人姉妹

作：アントン・チャーホフ
演出：中島諒人

上演は
大雪でも
どんな天気でも
やります

2023年2月10日(金)～3月5日(日)
各日14時開演(全18回公演)

※休演日：2月13日(月)・14日(火)・20日(月)・21日(火)・27日(月)・28日(火)

会場 鳥の劇場 (鳥取県鳥取市鹿野町 電話0857-84-3268)

変化の時代
都市から遠く離れた場所
未来への不安
夢の挫折
浮遊する魂たちは
どこを目指す

感染症
予防対策
を講じた上で
上演します。

JR鳥取駅・
鳥大前駅・浜村駅から
無料直通バス
を運行します。
※土日祝日のみ
※要予約

鳥取駅 10:45
鳥大前駅 11:10
浜村駅 11:35
13:10

—— 鳥の劇場2022年度活動テーマ:熱をわかちあい、熱をつくろう。さらに新しい劇場のあり方へ。 ——

帝政末期の混迷するロシア、現在の迷走する日本。
軽快で時にコミカルな群像劇が「今」を問う。

三人姉妹

作：アントン・チェーホフ 演出：中島諒人 翻訳：神西清

出演：齊藤頼陽 中川玲奈 高橋等 安田茉耶 後藤詩織 赤羽三郎 武中淳彦 山本芳郎(劇団山の手事情社)

村上厚二 下地萌音 小菅紘史(第七劇場) 大道無門優也(SPAC)

舞台美術：中島諒人 音響：原伸弘(オハラ企画) 照明：伊中昌宏 衣装：KIJYI

舞台監督：酒井周太 舞台スタッフ：嶋崎陽

チェーホフ作品の中でも最も有名な芝居の一つがこの『三人姉妹』。19世紀終わりの大きな時代の変化の中で没落していくロシアの有閑階級のかなしみを描いています。どんな時代も変化します。誰かが取り残され誰かが取って代わり、時代の波に乗る人乗れない人乗らない人、いろいろの中でそれでも人は生きていきます。私たちの現在を見つめ、未来に向けての希望を感じてもらえる舞台にしたいと思っています。(鳥の劇場芸術監督 中島諒人)

2023年2月10日(金)～3月5日(日)
各日14時開演(全18回公演)

※休演日：2月13日(月)・14日(火)・20日(月)・21日(火)・27日(月)・28日(火)

会場 鳥の劇場(鳥取県鳥取市鹿野町 電話0857-84-3268)

月	火	水	木	金	土	日
2/6	7	8	9	10 14時	11 14時*	12 14時*
13	14	15 14時	16 14時	17 14時	18 14時*	19 14時*
20	21	22 14時	23 14時*	24 14時	25 14時*	26 14時*
27	28	3/1 14時	2 14時	3 14時	4 14時*	5 14時*

各日、13:30頃よりプレトークを実施します。演出家が作家・作品・今回の演出のポイントなどについてお話しします。 ※の日は、終演後にアフタートークも実施します。

■物語

19世紀終盤、高級軍人の父とともにモスクワから遠く離れた辺境に駐留した家族。10年の時が経ち父が亡くなり、身分よりも経済の力かものを言う激しい時代の変化の中、有閑階級の没落が始まる。父を失った三人姉妹はその地に留まるしかなく、なんとか時代の変化に適応しようと試みる。しかし現実には彼女たちをもてあそび、彼女たちの実現不能なモスクワへの夢は不能なまま日に日に強まるしかない。

■アントン・チェーホフ

1860-1904 ロシアの劇作家。独自の静謐な群像劇を通じて、現代人の不安を描いた。その作品は今も世界の観客に愛されている。代表作『三人姉妹』『桜の園』『かもめ』『ワーニャ伯父』など。

みなさんに感謝の気持ちと舞台芸術をお届けしたい

18回公演とチケット割引のお知らせ

思った以上に長いコロナ禍で、なかなか終わりが見えませんが、鳥の劇場もみなさんのご支援のおかげでなんとか活動を続けてこられました。しかし経済活動復調の流れもある中で、またもやの感染拡大。一体どうしたら良いのか。

けれど、こんな時だからこそ、みなさんに、舞台芸術の魅力をお届けしたい。

今回の『三人姉妹』は、冬公演にも関わらずステージ数を多くしました。ひたすらに攻めの気持ちで、1ヶ月弱にわたり18回上演。日程の選択枝を広げて、とにかく多くの方にご来場いただきたいの思いです。さらに3年の長いコロナ禍の間も、変わらず応援してくださったみなさんに感謝の気持ちをこめて、今回は、チケット割引を設けました。**事前にご予約いただいた方が対象**です。このチケット割引も利用しぜひ多くの方にご来場いただき、ともにコロナ禍を乗り越えましょう。

■平日割

平日の上演は、どなたでも、どの回も、500円割引

■土日祝日限定 姉妹じゃなくても大丈夫、“三人姉妹”割

『三人姉妹』にちなんで、大人の方が三名様でお越しの場合、まとめて6,000円!(お一人様あたり500円割引)

■いつでもリピート割

「もう一度観て、お芝居の世界をじっくり楽しみたい」という方、二回目以降のご来場は500円割引

※前にご覧いただいた際のチケットの半券をご持参ください。お持ちいただけない場合は割引を受けられない場合がございます。

安心集中の観劇のために

現在一般的なコロナ対策としては、すべての座席をオープンにして満席での上演も可能です。しかし、お客さまの安心と観劇への集中のために、定員の半数の100人を各公演の上限数とします。隣の席が空いている状態で安心してご鑑賞ください(ウェブサイトで残席状況をご覧いただけますので、お確かめの上ご予約ください)。

もっと芝居を味わおう

毎回好評のアフタートークとあわせて、今回は上演前13:30頃より、演出家が作品や作家、今回の演出のポイントなどをご紹介するプレトークも実施します。アフタートークは、土日祝日公演の終演後に実施します。

カフェで“ロシア”を感じよう

『三人姉妹』の舞台はロシア。長く寒い夜を越すため、その料理はスープや煮込み料理など体が温まるものが多いのが特徴。上演に合わせて営業の「鳥のカフェ」では、今回ロシアにちなんだ軽食やスイーツを販売予定です。北国ロシアを食でもご体感ください(平日はドリンクと焼菓子のみとなります)。

*写真はイメージです。



温泉でほっこり、さっぱり

鳥の劇場のある鹿野町は温泉が有名。観劇とあわせて日帰りでも泊りがけでも、冬の温泉をお楽しみください。

・日帰り温泉でほかほか

鹿野温泉は「おんな水」と呼ばれるほど肌にやさしい泉質です。劇場から車で5分程のところに、日帰り温泉「温泉館ホットピア鹿野」があります。国民宿舎山紫苑のお風呂の日帰り利用も可能です。

温泉館ホットピア鹿野 大人440円／小人220円(営業時間/10:00～22:00)

山紫苑日帰り入浴 大人520円／小学生260円(利用可能時間/11:00～20:00)

・泊まりがけでのんびり観劇、のんびり温泉

源泉掛け流しの温泉が自慢の宿国民宿舎山紫苑。ウェブサイトでお好きな宿泊コースをお選びください。どのコースも、最寄りのJR浜村駅、そして鳥の劇場への無料送迎付きです。

(ご予約の際、予約ページの「ご要望・ご質問欄」に、鳥の劇場で観劇の旨と浜村駅からの送迎が必要であればその旨を必ずご入力ください。宿泊料金に観劇料金は含まれません。)

くわしいお問い合わせやご予約は、山紫苑 0857-84-2211まで。お電話の際は、鳥の劇場での観劇ありと必ずお伝えください。



山紫苑 庭園露天風呂「堀の湯」